

第23回企画展

INM 第2次総合調査報告
茨城県央地域の自然

ヒヌマイトンボに 吹く風

鹿島灘から鶏足山まで

100kmを行く

2001年
10月13日(土)～
2002年
1月14日(月)

■ 記念行事

- 第2次総合調査
「茨城県央地域の自然」
研究報告会
10月21日(日) 午前10時～午後4時
- 博物館の舞台裏
～収蔵庫見学ツアー～
10月27日(土)・11月10日(土)
午後1時30分～午後3時

*上記のイベントは全て事前申込制となっております。

■ 開館時間

・午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日

- ・毎週月曜日(ただし12月24日・1月14日は開館し、翌日が休館となります。)
- ・12月3日(月)～12月11日(火)(館内整理日)
- ・12月28日(金)～1月1日(火)(年末年始)

■ 入館料

- ・大人 720円(580円) * ()内は20名以上の団体料金です。
- ・高・大学生 440円(300円)
- ・小・中学生 140円(70円)

*未就学児、65歳以上の方、障害者手帳を持参の方は入館無料です。

*この料金には、本館常設展・野外施設入場料が含まれています。

*第2、第4土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。(但し冬休み期間は除きます。)

■ 後援

- ・ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

● 次回企画展

第24回企画展 **コリアの自然史**

—大陸と日本を結ぶ生きものたち—

2002年3月16日(土)～6月16日(日)

ヒヌマイトトンボ

Mortonia hirosei

ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL 0297-38-2000
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



茨城県央地域の自然 ヒヌマイトトンボに吹く風

— 鹿島灘から鶏足山まで100kmを行く —

The 2nd General Research: Nature of Central IBARAKI

博物館では、自然に関する資料や情報の蓄積を図ることを目的とした調査研究を重要な活動の1つとしています。そして茨城県の自然の全体像を把握し、自然科学の発展に貢献するために取り組んでいるのが総合調査です。

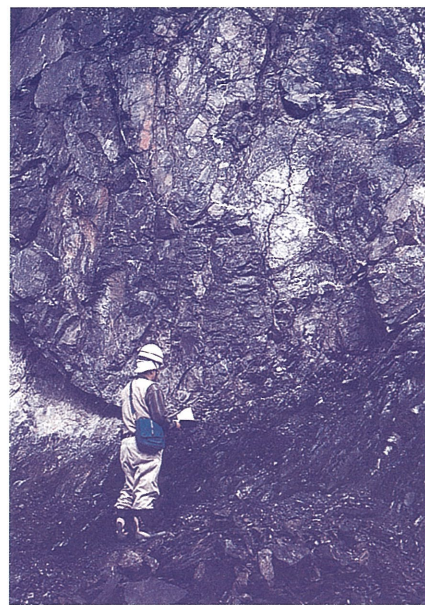
総合調査は茨城県を4つの区域に分け、1つの区域を3カ年かけて実施します。今回報告する第2次総合調査は、平成9年度から11年度にわたり、茨城県央地域で実施されたものです。

調査地域には、加波山から鶏足山に連なる山々、関東地方唯一の汽水湖「涸沼」、南部の砂浜海岸と大洗・ひたちなかの磯浜海岸など、変化に富んだ自然が広がっています（動植物の調査の一部は波崎町から鉾田町までの海岸線と沿岸域を調査地域に含んでいます）。

そのちょうど調査地の中心にあたる涸沼は、1971年、廣瀬 誠・小菅次男両氏による「ヒヌマイトトンボ」の発見地としても知られています。ヒヌマイトトンボ (*Mortonagrion hirosei*) の命名者 朝比奈正二郎博士の論文タイトルには「日本で最後のトンボの新種が発見された？」とあり、大発見であったことがうかがえます。護岸工事がすすんだ涸沼の湖岸は、絶滅危惧種でもあるヒヌマイトトンボにとって決して良好な環境とはいえません。残されたわずかなヨシ原はヒヌマイトトンボの大切なすみかです。

今回踏査された県央地域の自然、そこには際だって名の知れたところはありません。しかし、調査は、いたるところに貴重な自然が存在していることを明らかにしました。

「ヒヌマイトトンボに吹く風」まさにこの風は、この土地を吹き抜ける心地よいそよ風です。この風を感じることが豊かな自然の理解につながるような気がします。この企画展をご覧いただき、みなさんにもこの「ヒヌマイトトンボに吹く風」をぜひ感じていただければと思います。



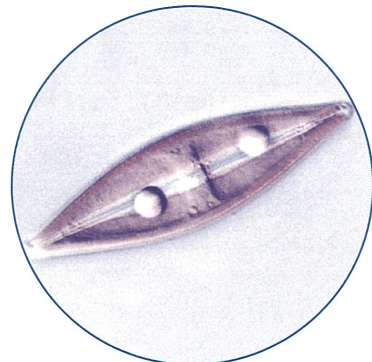
地質調査のようす (岩瀬町大泉採石場)



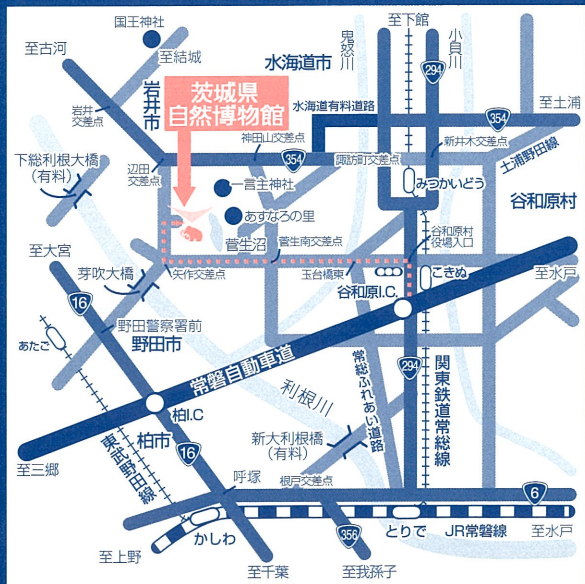
ストランディングしたアカボウクジラ (2001.2 大洋村)



県内に広く分布する土壌動物
フツウホンエダヒゲムシ



涸沼で見られたケイソウのなかま
Navicula cuspidata



交通案内

- 車利用の場合
 - ・常磐自動車道谷和原I.C.から20分
 - ・古河方面から境町経由50分
 - ・下館方面から下妻市経由1時間10分
 - ・土浦方面から水海道市経由1時間
- 鉄道・バス利用の場合
 - ・関東鉄道常総線水海道駅から関東鉄道バス「岩井車庫行き」又は「岩井西行き」乗車→「辺田三叉路」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」又は「北越谷駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東武野田線安房駅から茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 - ・東京駅八重洲南口から高速バス「岩井行き」乗車→「辺田香取神社」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」又は「北越谷駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分

※ペット及び道具等の持ち込みはご遠慮下さい

主な展示内容

- ◆はじめに
調査地域の概要
- ◆山地の自然
加波山や鶏足山の植物／山地の土壌動物／鶏足山塊の岩石・鉱物・鉱床など
- ◆涸沼の自然
涸沼の鳥類・魚類・昆虫類／涸沼に生息するプランクトン／涸沼周辺で見られる貝化石など
- ◆海岸と海の自然
鹿島灘の鳥類・魚類・無脊椎動物／海浜植物／鹿島灘の海藻類／白亜紀層に見られるアンモナイト類／ストランディングしたクジラ類など
- ◆人と自然とのかかわり
笠間焼と石材業／ヒラメの種苗生産と放流事業など